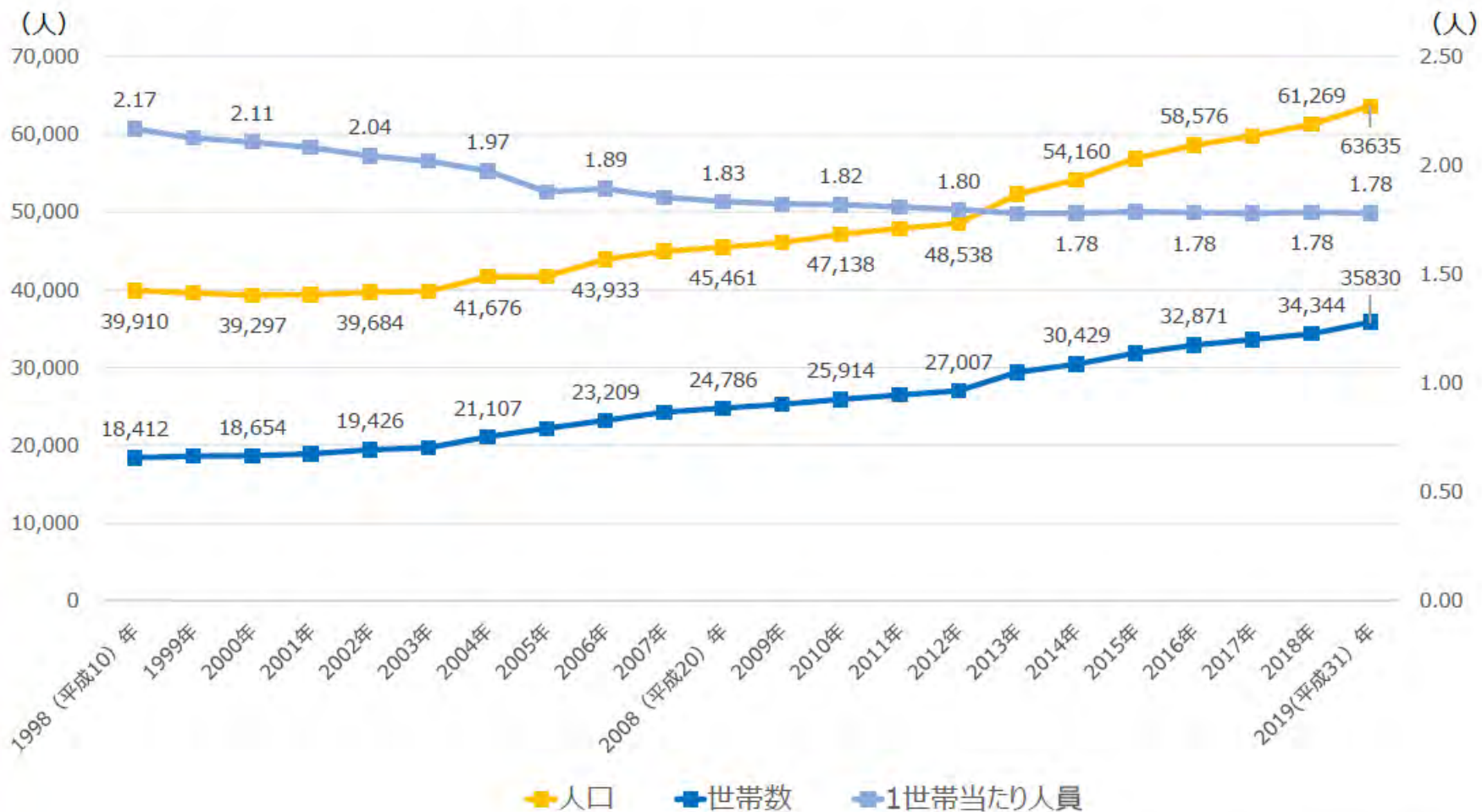


# 1 人口、世帯数、1世帯当たり人員の推移 ～急速な人口増加はピークを越え逡増傾向へ～

住民基本台帳に基づく人口は、1998（平成10）年1月1日現在で39,910人となり、区政史上初めて4万人を割り込みました。2000（平成12）年に最少となり、以降、増加に転じて、この20年間に約50%増加しました。2019（平成31）年1月1日現在、63,635人で東京23区の中では最も少なくなっています。また、世帯数は20年間で約94%増加し、35,830世帯となっています。人口増を上回る世帯数の増に伴い、1世帯当たり人員は減少を続けてきましたが、ここ数年は、1.78人程度でほぼ横ばいで推移しています。



## 2 人口の推移と将来推計 ～人口増加は、今後も続く見込み～

国勢調査で概ね100年間の人口動向をみてみると、戦後に約9万人に半減した人口はいったん増加に転じ、12万人を超えましたが、高度成長期以降一貫して減少し、1990（平成2）年～2000（平成12）年には、4万人を割り込みました。2005（平成17）年に4万人台に回復してから急激に増加し、2010（平成22）年～2015（平成27）年の人口増加率は24%と突出して高くなっています。「平成30年千代田区人口推計」では、今後も緩やかに増加を続け、2060年には約9万人を超えると推計されています。



実績は国勢調査。将来推計は千代田区人口推計による。  
実績については外国人を含み、人口推計においては外国人を含まない。